

大阪次世代自動車普及推進協議会 第2回会議 議事概要

日時： 平成 29 年 2 月 20 日（月曜日） 14 時 30 分から 16 時まで

場所： 大阪府立国際会議場 1003 会議室

出席者： 別添名簿を参照

○議題 1 につき、事務局から配布資料に沿って部会の活動内容や主な意見について報告

議題 1 EV 部会・FCV 部会活動報告について

○議題 2、3 につき、事務局から説明。資料に沿って、協議会として取組を進めていくことを出席委員で確認

議題 2 大阪府内における水素ステーション整備計画の見直しについて

議題 3 平成 29 年度の活動について

○議題 4 につき、資源エネルギー庁及び（一社）次世代自動車振興センター（NEV）から配布資料に沿って情報提供

議題 4 平成 29 年度次世代自動車に係る国の施策・予算等について

○主な意見

（議題 1）

- ・EV の充電インフラの位置情報については、経産省とのこれまでの話し合いの中で、我々が直接公表するのではなく、チャデモ協議会や（一社）電動車両用電力供給システム協議会（EVPOSSA）に情報を提供することとなっている。ただ、それでは最新情報の設置場所が把握しにくいというご意見もあったので、本件については持ち帰り、経産省と協議を行いたい。
- ・自治体にはこれまで購入補助金などを実施して頂いているが、法制度で後押しをしてもらうことも、持続可能な支援に繋がるのではと考えている。また EV や FCV は移動可能な蓄電池として有事の際も活用できるので、電気の備蓄という観点で、地域の防災計画に組み込んでもらえればと思う。
- ・充電インフラの位置情報については、エクセル方式で少し見づらいが、当 HP で一般の方に無料で提供している。また、スマホアプリでの充電インフラ情報の提供は、情報提供事業としてビジネスになりつつあることから、干渉することのないよう、当 HP にもバナーを掲示して、そちらのサイトに誘導するなど工夫しているところ。
ご指摘のあった当 HP の見やすさ、アクセスのしやすさについては、今後改善を検討したい。

- ・大阪府の水素ステーションの普及に向けた積極的な取組に感謝。現在の7箇所からさらに拡がることになれば、今後のFCV販売にも大きく貢献すると思っている。
当社のFCVについては1月末で120台、また府内では6台を販売済。今後も普及拡大に向けて取組む。FCVも移動する発電所と呼ばれるように災害に強く、かなり大容量の電気の供給が可能。そういった使い方も含めて導入を検討してもらえれば。
- ・新技術ニーズ説明会には我々も参加。様々な技術を持つ企業が近くにいることを知るきっかけになり、今後とも継続的に実施して欲しい。ただし、説明会后、関連事業者との技術マッチングまでに少し時間が掛かった印象。一回目の取組ということもあり、今回は大阪府が仲介役になってもらったが、次回以降は、企業間で直接やり取りを行うほうがスピーディーなのでは。
また、協賛企業としてサポートしている工作コンクールについては、社内でも大変好評。ただ、表彰式で実際の作品を拝見した際、工作キットのパワーが低いため、半分くらいが思っていたよりも動かなかったとのこと。予算との兼ね合いもあるかと思うが、次回はもう少しパワーのある工作キットを用意されてはどうか。

(議題2)

- ・今回の整備計画の改訂案については、国のロードマップ改訂に沿った内容となっており、妥当だと考えているが、少し事業者側の視点が少ないかなとも思う。水素ステーションの整備にはNEVから補助金を受けているが、建設費や運営費については、ステーションの普及に繋がるよう、我々が多くを持ち出しているのが現状。
ステーション運営事業者の顔ぶれも固定化してきているが、新たな事業者が増えないとステーションの拡大展開に繋がらないので、事業者が早く取組むためのインセンティブなど、大阪府としてこういうことが出来るというものを、打ち出してもらえればありがたい。
- ・国のロードマップ改訂を受けたタイムリーな作業であり、内容についても国の数値と整合性が取れたものになっており、非常に的確な見直しだと思う。
当社では、燃料電池の普及段階において適した方法となる、マザー&ドーター方式の水素ステーションを整備済。
先ほど意見があったように、ステーション運営事業は厳しいものがあるが、我々としてはこうした取組を通じて、FCVの普及に繋げていきたいと考えており、今後も協議会の参画団体の皆で力を合わせて、FCVの普及に邁進出来ればと思う。